NPO法人ユニークユニバース

Vol.2





「UNICO は負けない! 賛助会員としてのお力添えのお願い」

理事長 益山ゆき

2018 年4月、放課後等デイサービスの報酬改定が行われました。私たち UNICO も含め、多くの放課後等デイサービスは、今年度から、 これまでと同じサービスを提供しても大幅な収入減となってしまいます。

この改定には、様々な背景があります。

2012 年、厚生労働省は、障害児の保護者のニーズに応えるため、児童福祉法改正に伴い、それまで少なかった放課後等デイサービスの数を増やすために、規制緩和を行いました。それを受けて、多くの民間企業や公的法人などの参入がありました。結果、その数は5年間で4倍以上に膨れ上がりました。

保護者は、複数の事業所から子どもの通う場所を、選べるようになりました。

しかし残念ながら、障害児への理解や知識がないまま放課後等デイサービスを設立してしまった企業もありました。狭い部屋に子ども達を押し込めて、障害児に対する知識のない職員が、子どもたちにテレビを見せているだけという事業所も生まれてしまいました。

そのような問題を解決するために、厚生労働省は、2017年に職員の資格要件(保育士、教員免許資格、社会福祉士、精神保健福祉士、 児童福祉施設3年以上勤務など)を付与し、加えて今年度には報酬改定を行い、質の悪い事業所を淘汰させようという思惑があるのだと思います。

熱い思いがあって放課後等デイサービスを運営している事業所にとって、2018 年は、辛い試練の時となってしまいました。特に、私たちのよう に後ろ盾のない単なる NPO 法人の大幅な収入減は、死ぬか生きるかの瀬戸際に立たされることとなります。

私たち UNICO は「質の良いサービスを提供している」ことが唯一の売りであり、世の中に対して胸を張ってお伝えできることなのに、質の悪い事業所を淘汰しようとしているこの改定によって、潰されようとしている…。こんな屈辱的なことが他にありましょうか。

私たちが店じまいをする時は、利用者たちから三行半を突きつけられた時です。それ以外の店じまいはありません。昨日も今日も毎日毎日、利用 者である子どもたちが、嬉しそうに通ってきているのです。ここは、何がなんでも生き残らなければなりません。

どうぞ皆様、ユニークユニバース・UNICOの活動の継続のために、賛助会員としてお力添えくださいませ。

賛助会員が 100 人を越え、行政から活動を正当に評価をしていただけると、認定 NPO 法人となることができます。認定 NPO 法人になりますと、 税制優遇が適用され、個人や法人からの寄付を受けやすくなります。ユニークユニバースは、認定 NPO 法人を目指したいと思います。

一人でも多くの方のご賛同、ご協力を、心よりお願い申し上げます。

Voice ~利用者の声~

田邊秀歌さん

「今日はたいこドンドンだよ~!!」

我が家ではUNICOのことを「たいこドンドン」と呼んでいます。いつも「たいこドンドン、レッツゴ〜!」といいながら出かけています。秀歌は今、小学6年生です。

音楽療法との出会いは就学前でした。そのころは療育施設に通っておりました。手厚い支援を受けて過ごしておりましたが、秀歌にとって理解することが難しいことも多く、自分から活動する姿はあまり見られませんでした。そのころに益山先生の音楽療法と出会いましました。始めたころは相変わらずでしたが次第に益山先生の多彩な旋律のピアノに操られるかのように自ら体を動かしたり、楽器にさわったり、リズムを叩くようになりました。控え室で待っていると先生のピアノやリズムと、まるで対話しているかのような音が聞こえくることもあります。「やりなさい!やって!」という言葉がなくても音や旋律が人の気持ちを動





かせるということ、音やリズムで対話ができるいうこと、「ダメ!!」など否定的な空間でなく認めてもらえる空間が 大切なんだということを実感いたしました。

自ら活動することを認めてもらい達成感を実感できたおかげで普段の生活も活発になってきました。(今では調子にのりすぎることもありますが…)最近は学校の行事で発表した曲「♪リンダリンダ」がお気に入りで、藤原さんのドラム姿をまねしているかのようにおもちゃのドラムを曲に合わせて歌いながら叩いています。またYouTubeでお気に入りの曲を流しながら益山先生のピアノのまねしているかのように曲に合わせてピアノを弾いております。家でも音楽、音と対話する様子が見られるようになりました。秀歌の大好きなUNICO。これからもUNICOで奏でられる音楽を聞き、感じ、思う存分表現させていただき、それらの経験が日々の生活に生かされることを願っております。

今後ともよろしくお願いいたします。

文 田邉秀歌さん母

池上恭一さん

ばちを持ち太鼓をたたく。できないわけではないが、3歳のふくやまっこ(福山型先天性筋ジストロフィー)恭一にとっては心身ともに重労働。

「ぼく、できない」

最初の面談で、恭ちゃんはそう思っていますねとゆき先生に言われた衝撃を今でも鮮明に覚えている。

保育園も病院も療育も、小さな成功体験を積み重ねる仕掛けを作り、理解力や身体機能を伸ばしてくださった。与えられたものを与えた人の意図の通りにすると「上手にできたね、頑張ったね」と喜ばれる。できない自分は頑張っていない、よくない自分。



元気な同級生達の流れの後ろにつく(または諦めて待機する)日常で、自分がやるまで待ってもらえる環境かどうか、右下を向いて静かに見定める。他の子のようにはできない自分を自覚し、最初から望まない。

音楽療法の時間は、全てが正反対だった。やり方が指示されない。上手にやれと言われない。やらなくても叱られない。自分の表情の小さい変化が、微かな動きが、ピアノに乗り広がっていく。気分が乗らずに俯き動かないことも音楽になる。

やる気満々な自分も、やりたくない自分も全部いい。できなくても、やってみたいと望んでいい、主張していい。 自分は、部屋の空気の中心になれる。

「ぼくは、ぼくのままでいい」

音楽療法に気付かされたこの静かで確かな自己肯定感は、 恭一が"開く"きっかけになった。8歳の今、音楽療法では 3人のセッションで兄貴分、学校ではムードメーカーだと いう。

これから恭一には、伸びゆく理解力と好奇心に反比例して動かなくなっていく身体と向き合う、過酷な時間が始まる。完全には言語化できない思考力で、自分の苛立ちや怒りや悲しみ、たくさんの感情を突き付けられる大変な戦いだろう。「ぼくは、ぼくのままでいい」という感覚は、きっと力強い味方になってくれるに違いない。

音楽療法との出会いと、恭一を支えてくださる皆様に心から感謝し、これからも恭一の時間に寄り添っていきたいと思う。

文 池上恭一さん母



こんにちは。UNICOで、音楽心理療法GIMを担当しています吉原奈美です。みなさん、ふとした時に泣きたくなったり、 涙が出たりすることはありませんか?大した事ないことに、無性に腹が立ったり、八つ当たりをしてしまうことはありませ んか?もしかすると、感情の入れ物が、知らず知らずのうちにいっぱいになり、溢れてしまっているのかもしれません。

心には、不思議な働きがあります。何か大変なことがあると色んな感情が湧いてくるものですが、処理仕切れないと無意識の中に溜め込んでしまう事もその一つ。忙しくて、ゆっくり時間かけて向き合う事は難しいですよね。なので、閉じ込める働きそのものは、自分を守るためなのですが、しすぎてしまうと、無意識がよく分からないモノでいっぱいになってしまいます。心と体は繋がっているので、そうすると体にも不調が生じることもあります。眠れなかったり、急に心臓がドキドキしたり、パニックになったり。疲れやすくなるのもそのせいかもしれません。

そんな自分に気づいたら、心の中をデトックスしましょう。と言っても、簡単に綺麗にできるわけではありません。例えば、家の中に、いらないものを詰め込んだ押入れがあったとします。その中を片付けるには、必要なものとそうでないものを分ける必要がありますよね。中には、思わぬ発見があって、大切な思い出がよみがえったりもします。心のお掃除も同じです。しまってある「何か」には、必要なものとそうでないものがくっついているものです。それをきちんと見つめて、分けて、綺麗にしていく必要があります。思わぬ嬉しい発見もあるかもしれませんよ。



音楽心理療法GIMは、その心のお掃除のお手伝いをします。リラックスした状態で、約30分の音楽プログラムを聴きます。聴くと言っても、体に音楽を流すような感覚です。そうすると、何か色や風景や人物が浮かんできたり、体がムズムズしたり、重く感じたり、感情が湧いてきたりします。それらをイメージと呼ぶのですが、そのイメージについて、出てくるままにセラピストにお話いただき、会話をするようにイメージを探っていきます。音楽が終わったら、また一緒にイメージを振り返り、自分への気づきへとつなげていきます。イメージを使いますので、カウンセリングなどで言葉にするのが苦手な方にも向いていると言われています。

GIMについて、詳しくはMUSICUREのHPでご確認ください(http://musicure-mt.com/gim/)



スタッフ・村島がGIM体験をしてみました!

はじめに、先生と一緒に「今日のテーマ」を決めていきました。雑談のような会話をしながらテーマが無事やまり、次は音楽を聞く準備です。ヨガマットの上で仰らけになってゆっくり呼吸をしながら緊張をほぐしているの知らない私に会いに行く旅」なのですから、当たり的ですよね。そんな中、いよいよ「旅」の始まりですました。日を関り、短調でひっそりとした音楽にじっイメージがといると…深夜、草原、風、寒い…次々にイメージがといるとが出来ました。その後はただ音楽の流れに身を任うることが出来ました。予想外な展開満載の、あっというで、自分とちょっとだけ仲良くなれた気持ちは穏やかで、自分とちょっとだけ仲良くなれた気がしました。

UNiFES2019

@松戸森のホール 開催決定!!

2019年5月12日(日)午後(時間詳細未定)

UNIFES2019は大人も子どもも赤ちゃんまでも全員が音楽 を奏でる参加型の<mark>イベントです。もちろん障害や病も関係な</mark> く、アーティスト<mark>さ</mark>えも<mark>、会場に</mark>訪れたひ<mark>とり</mark>ひとりが自由 に音楽を好きなように表現できる場所です。

ダンスフロア<mark>で</mark>手を叩き、声を上げて歌い、跳ねて踊って いたり、席に座<mark>っ</mark>ている方も小さなマラカスをフリフリ♪ 聞くだけではない音楽を楽しめます。会場すべてが一体とな り、今日この場所でしか生まれない音楽が誕生するのです!!

5月12日森のホールで二度と味わえない音楽を一緒に体感 しましょう!!

橋本瑞穂





NPO法人ユニークユニバースの活動趣旨に賛同してくださる方、 サポーターとして会員になっていただけませんか?

・正会員

総会で議決権を持つ会員。 入会金¥10,000 年会費¥12,000

・替助会員

活動を会費で賛助する会員。入会金なし 年会費(個人)¥3,000/10、年会費(団体)¥10,000/10

☆特典☆

正会員、賛助会員共にニュースレターの送付、UNiFES含む弊社主催のイベント、講座などの割引。 お申込みはメールで承ります。ご氏名、ご住所、正会員または賛助会員どちらかをお知らせください。 info@uniunico.com 件名に「会員申込」とご入力お願いします。

振込先

・ゆうちょ銀行からの送金 **广座記号番号:00210-3-88564**

口座名称:トクヒ)ユニークユニバース (NPO法人ユニークユニバース)・ゆうちょ以外からの送金 店番〇二九(ゼロニキュウ)店(029) 当座0088564

スタッフ

UNICO管理者 益山ゆき UNICO児童発達管理責任者藤原大輔

コンティオ(杉千種、山口里佳)野々上聡人 工藤緑 関口千恵 ●NPO法人ユニークユニバース理事 ·GIM部門 吉原奈美

・イベント部門 橋本瑞穂 ・事務、経理 松田敬治

理事長:益山ゆき 副理事長:松田敬治 理事:柳町博 金光朋子 猪狩裕史 監事:加藤さくら ☆現在のUNICO利用者人数 90名(2018年10月現在)



〒270-2231 千葉県松戸市稔台 7-31-1 ハイピアー稔台 TEL: 047-382-5000 FAX: 047-382-5329 UNiverse E-mail: info@uniunico.com HP: www.uniunico.com